

令和7年度 錦城東小学校 学校経営計画

児童を中心に据え『人』を大切にした学校づくり

～子どもたちが通いたい、保護者・住民が通わせたい、教職員が働きたい学校づくり～

1 校 訓 「やさしく さとく たくましく」

2 学校教育目標 「自分も人も大切にできる きんひがの子」

～夢をもち、心豊かに、自ら学び行動できる児童の育成を目指して～

3 目指す児童像

「やさしく」

・自分も人も大切にできる子

（自己有用感・自己肯定感をもつ、人のいたみがわかる、思いやりがある、友達と仲良くする、人に親切にする、人の役に立とうとする、等）

「さとく」

・自ら考え、友達の考えを聞き、向上心を持って学ぶ子

（人の話を最後までしっかり聞く、進んで学習に取り組む、友達と力を合わせて課題を解決しようとする、わかるまであきらめず根気よく努力する、等）

「たくましく」

・心と体の健康な子

（明るく元気にあいさつをする、進んで身体を動かし運動に親しむ、つらいことやいやなことがあったらだれかに相談できる、少々のことではへこたれない、目標を持ちその達成に向け粘り強く取り組む、等）

4 目指す教師像

- (1) 児童のよさを認め、のばす教師
- (2) 教育に対する使命感を持ち、指導力向上に努める教師
- (3) 児童・保護者・地域から信頼される教師
- (4) 目標達成のために組織の一員として協働できる教師

5 具体的な取組

(1) 教育活動に関する重点努力事項

確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成 ～知・徳・体のバランスのとれた児童の育成～

- ・「BE THE PLAYER」(子どもが主役)の授業を行う。「自分のペースで 自分で学ぶ」「学び合って、助け合って、共に学ぶ」ことを大切に、一人ひとりを伸ばす授業をめざす。
- ・創造性や発想力を組み合わせて課題解決に挑む探求型の学習にも計画的に取り組ませる。
- ・生徒指導の4つの視点(自己存在感の感受、共感的人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安全な風土の醸成)を生かした教育活動を推進する。
- ・縦割り活動や異学年交流、豊かな体験活動の工夫、道徳教育・人権教育の充実を図る。
- ・1校1プランの推進やスポチャレいしかわの取組、なわとび大会、外遊び等を通して、思い切りからだを動かしたり運動したりすることの楽しさを味わわせるとともに、体力・運動能力の向上を図る。
- ・健康・安全に対する意欲・知識・実践力を向上させる。
- ・児童の個人の状況をきめ細かく把握し、「誰一人取り残さない」ための支援・環境づくりに努める。
- ・保護者や地域とともに、よりよい学校づくりをめざす。

(2) 学校経営に関する重点努力事項

① 組織的な学校運営

- ・各主任をリーダーとし、各自が自分の職務を自覚・遂行するとともに「報告・連絡・相談」を大切にする。また主任間・学級間・教職員間の連携を図り、共通理解・共通実践することによって組織的対応に努める。
- ・日頃から職員間の親和的なコミュニケーションを大切に、教職員個々の持つ資質・能力・よさを十分に発揮できるようにするとともに、悩みを一人で抱え込まず、職員全体で共有し、同僚性を高めていく。そして、「チームきんひが」として、困難な課題にも学校全体で協働し、乗り越えていける職員集団となる。

② 教職員がやりがいを感じながら、生き生きと働ける学校づくり

- ・校務の精選、重点化・焦点化・効率化・協働化等を図りながら、業務改善・多忙化改善を推進する。そして、教職員一人ひとりがワークライフバランスを考え、生き生きと働ける職場環境を整える。